

### 施策目標：

伝統的な友好関係と価値や原則を共有する中南米諸国との間で、二国間及び国際場裡での連携を強化し、もって日本にとって望ましい国際環境を確保すること。

### 施策評価（総括）：

法の支配、民主主義、自由貿易といった価値や原則に基づく既存の国際秩序が大きく揺らぎ、不確実性がかつてなく高まる中で、地政学的要衝に位置し、価値や原則を共有する中南米諸国との連携強化は重要である。また、鉱物・エネルギー・食料といった豊富な天然資源を有する中南米諸国との協力は、サプライチェーンの多元化・強じん化を含めた経済安全保障の観点からも重要性を増している。これらを踏まえ、令和6年5月、岸田総理大臣が政策スピーチ「中南米と共に拓（ひら）く『人間の尊厳』への道のり」を行い今後10年の対中南米地域外交の方針を示すとともに、日・カリコム外相会合、ブラジル大統領の国賓訪問、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）（中南米首脳11名、外相13名訪日）の機会を捉えて政府ハイレベル間で緊密な意思疎通を実施した。この結果、2つの分野に掲げる目標が一定程度実現され、対中南米地域外交の必要性及び有効性が再確認された。よって、施策目標は妥当であり、今後も同目標を維持し、各取組を推進する。

### 外部有識者の所見（概要）：

- 中南米諸国は、法の支配、民主主義、自由貿易といった価値や原則を共有し得るパートナーであると同時に、鉱物、エネルギー、食料などの供給源として、日本のサプライチェーン多元化に資する地域である。岸田総理大臣の政策スピーチ、日・カリコム外相会合の開催、ブラジル大統領の国賓訪問、大阪・関西万博の機会を捉えた各国首脳及び要人との交流の実現やその後の往来は、関係強化の契機として評価できる。
- メキシコ・中米・カリブ諸国に進出している日本企業への支援により進出日系企業拠点数が令和4年度から令和7年度までの間に約2割増加したこと、日・ボリビア関税相互支援協定の締結・発効や日・パラグアイ投資協定の署名などについてはこれまでの外交的努力の成果として高く評価される。
- 中南米地域外交は日本外交全体の中での優先順位が見えにくく、資源や経済安全保障、国際場裡での連携、日系社会との関係強化をどのように戦略的成果へ結びつけるかが課題である。今後は、価値外交と実利協力を結びつけ、継続的な関与を制度化する必要がある。
- 中南米地域においては、経済交流を中心に大きな成果を出してきたが、ほかの地域に比べ、まだまだ発展の余地があると思われる。とりわけ、企業や民間、アカデミアを巻き込んだ人的交流の増大、経済に限られない広い領域における交流や協力の拡大が課題になる。
- 中南米諸国との間のルールに基づく自由で公正な国際経済秩序の維持・強化、日・ブラジル受刑者移送条約の円滑な運用などの難しい課題について、更なる外交的努力の積み上げに期待する。

施策 I - 3 : 中南米地域外交

| 【参考】予算額・執行額等               | 区分    | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
|----------------------------|-------|---------|---------|---------|
| 施策の予算額・執行額等<br>（分担金・拠出金除く） | 予算の状況 | 116     | 130     | 150     |
|                            | 執行額   | 93      | 118     | 102     |
| 同（分担金・拠出金）                 | 予算の状況 | 1,844   | 5       | 4       |
|                            | 執行額   | 1,843   | 5       | 4       |

（注）百万円単位。当初予算、補正予算、繰越し等を含む。

# 令和5年度中南米 における対日世論調査結果

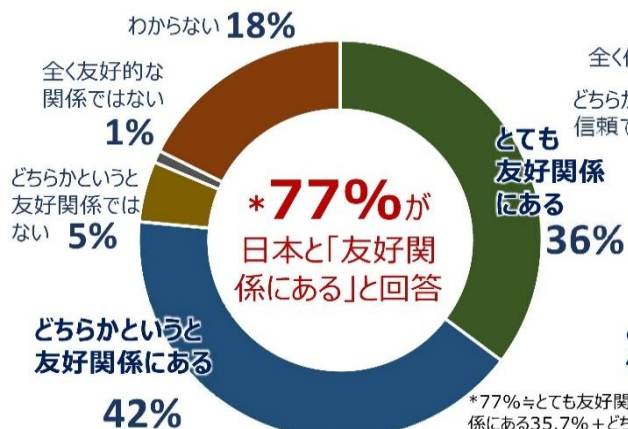
調査対象国：アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、メキシコ、トリニダード・トバゴ、ボリビア、ウルグアイ  
 調査対象者：18歳～64歳の男女2,300名（ブラジル、メキシコ各400名、それ以外各300名）  
 調査方法：インターネット調査・訪問面接調査  
 調査期間：2023年11月-12月 調査機関：Ipsos

※回答の比率は四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

2024年3月15日

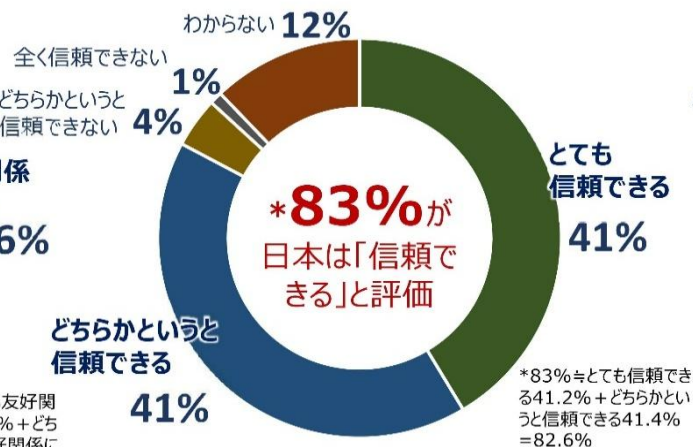
## I. 対日関係

Q. あなたの国と日本は現在どのような関係にあると思うか。



## II. 信頼関係

Q. あなたの国の友邦として、今日の日本は信頼できると思うか。



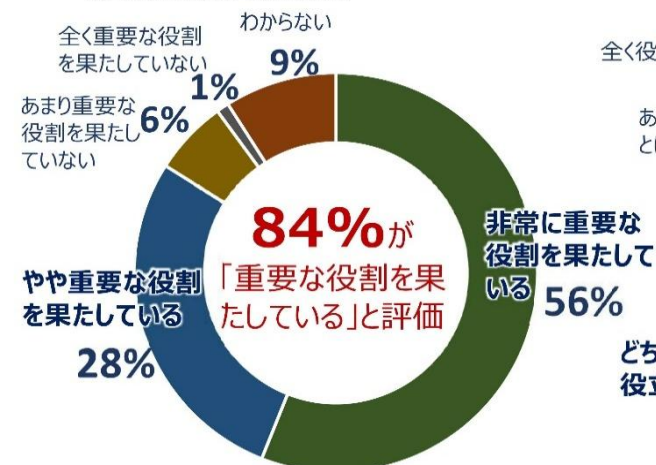
## III. 平和国家としての日本の歩み

Q. 日本の平和国家としての歩みについてどう思うか。

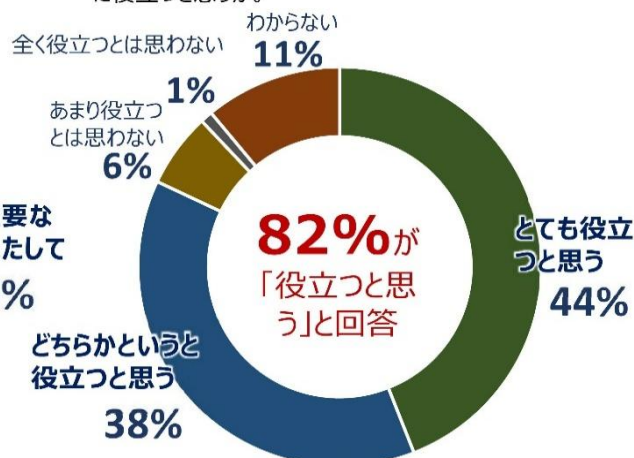


## IV. 日本の役割と貢献

Q. 日本は世界経済の安定と発展にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。



Q. 日本が地域及び国際社会の平和と安定に積極的に貢献していくのは世界の平和維持や国際秩序の安定に役立つと思うか。



## V. 連携を強化すべき域外パートナー

Q. 現在、中南米諸国が連携を強化すべき域外のパートナーはどの国だと考えるか。（複数回答可）

